

# 応援職員広報誌

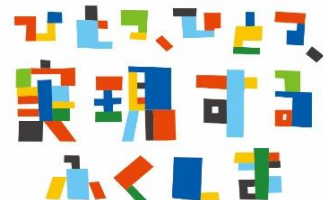
with **f**ukushima



楡葉町上繁岡大堤 (写真提供：楡葉町 鈴木 教弘)

令和3年7月

福島県市町村行政課





# 目次

## I 応援職員紹介

いわき市	P1
相馬市	P1~P2
南相馬市	P2~4
川俣町	P4
広野町	P5
檜葉町	P6~7
富岡町	P7~11
大熊町	P12~13
双葉町	P13~P16
浪江町	P17~P23
葛尾村	P23~P24
新地町	P24
飯舘村	P25

※記載内容（イメージ）

氏名	自己紹介 (派遣の動機など)
写真	① 所属課（業務内容等） ② 派遣元団体（出身地） ③ 派遣期間又は任期
	派遣 市町村名

## II Information

ご案内	P26
-----	-----

いしはら けい  
石原 慶



東京都港区から参りました石原 慶と申します。  
福島県を一度も訪れたことがなく、当初は不安もありましたが、過去に派遣されていた先輩方のお話どおり、おいしい食べ物が多く、周りの方々も優しくしてくださるので、楽しく生活できております。

出身地は神奈川県茅ヶ崎市のため、海があるいわき市にはどこか懐かしさを感じるとともに、自然のスケールの大きさに驚かされております。1年と短い期間ではありますが、力になれるよう頑張りたいと思います。

- ① 土木部河川課  
(河川災害復旧事業・がけ崩れ防止事業)
- ② 東京都港区
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

いわき市

ひろはた だいすけ  
廣畑 大輔



災害復興支援で、相馬市に参りました。

現在は、令和元年に発生した台風19号の災害復旧工事(道路・河川・橋梁)に係る工事監督の業務に従事しております。慣れない土地や業務に戸惑うこともありますが、親切な職員の方々に囲まれながら、充実した日々を過ごしております。

微力ながら派遣元で培った力を最大限発揮し、相馬市の復興支援に尽力したいと思っております。

- ① 建設部土木課(災害復旧工事)
- ② 東京都稲城市
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

相馬市

あさの ふみや  
浅野 史弥



熊本地震の際に全国の自治体からご支援とご協力をいただきましたので、今回は私力が力になりたいと職員派遣に手を挙げました。

相馬市では土木課に所属し、被災した道路や河川、橋梁の復旧工事に従事しています。初めて経験する工事内容もありますが、職場の皆様のおかげで楽しく仕事をしています。

1年という短い期間ではありますが、相馬市の復旧に貢献できるよう頑張りたいと思います。

- ① 建設部土木課(災害復旧工事)
- ② 熊本県熊本市
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

相馬市



いのした さとし  
井下 聡



相馬市への派遣は、今回で2回目となります。前は平成25年1月から3月までの3ヶ月間でしたが、今回は1年間の派遣となりますので、農用地等災害復旧支援のため相馬市職員の皆様と一緒に精一杯努めてまいりたいと思います。

休日は、新型コロナウイルスの感染状況を見つつ、福島県内を観光したいと思っています。また、全国新酒鑑評会・金賞受賞数8回連続日本一位の福島県の日本酒を飲むことも楽しみにしています。

- ① 産業部農林水産課（農用地等災害復旧事業）
- ② 愛媛県西条市
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

相馬市

う の じゅんいち  
宇野 純一



派遣されるまで、災害復旧事業に従事した経験がなく、被災地のために少しでもお役に立ちたい気持ちと、経験として自分の糧にしたいという気持ちから派遣を申し込みました。こちらの職場の方々に、福島県の良さを教えてもらっており、その魅力を日々実感しております。地元と物理的な距離があるため、派遣されるまで福島県のことを知らなかった部分が多いのですが、とてももったいなくないと思います。これからも、福島県の魅力を発見しながら仕事に尽力していきたいと思っています。

- ① 産業部農林水産課（林道・農地等災害復旧事業）
- ② 福井県大野市
- ③ 令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

相馬市

う っ き さとる  
宇津木 哲



派遣2年目となりました。

初めて東北で生活してみて、寒さが厳しいしちょっと不便だけど、果物とか魚とか米とか酒がおいしくて、なんていいところなんだろう福島県って思いました。りょうぜん漬け最高です。

コロナ禍でいろいろ大変ですが、派遣ラストイヤーなので、福島県のおいしいものをもっと食べれるようにオンもオフもアグレッシブに過ごしていきます。

- ① 健康福祉部社会福祉部（生活保護ケースワーカー）
- ② 東京都青梅市
- ③ 令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

南相馬市

おおた ひでお  
太田 英雄



福島県の復興の一助になればと思い南相馬市に赴任いたしました。  
浜通りは、気候も温暖で過ごしやすく、都会育ちの私には海辺や田園風景が心地よく感じられます。コロナ禍で、温泉地巡りと地酒の堪能が出来ないことは残念ではあります。

水道は1日24時間・1年365日、蛇口を捻れば水が出るのが当たり前の存在ですが、施設の維持管理に携わる多くの人の安全を第一に日常業務に励んでおります。

- ① 建設部水道課(水道管取替工事等の設計・監督)
- ② 福島県(東京都)
- ③ 令和元年11月1日 ~ 令和3年10月31日まで

南相馬市

さえき ゆうすけ  
佐伯 優介



2年前、豪雨災害の1ヶ月後に災害査定の補助で10日程度派遣されました。今年度、未だ復旧が完了されていないとのことで、また偶然にもお役に立てる機会が巡ってきたことから、現職についています。

いままで神戸市外に住居を移したことがなかったので、福島県での暮らしに一喜一憂しながら、日々過ごしております。休日は、新型コロナウイルスの感染予防に努めながら、福島県、ひいては東北の各所をいろいろ回れたらいいなと思っています。

微力ながら、災害復旧の一助になれば幸いです。頑張ってます！

- ① 経済部農林整備課(令和元年豪雨災害復旧事業)
- ② 神戸市(兵庫県神戸市)
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

南相馬市

あしの かずひこ  
芦野 和彦



神奈川県任期付職員として今年の4月から南相馬市にお世話になっております。出身は山形県天童市です。福島県は隣県ということもあり潮干狩り・海水浴・キャンプ等で訪れていてとても愛着があり思い出深い場所です。

1年間という短い期間ですが、今までの経験を活かし南相馬市の復旧復興のお手伝いを精一杯頑張りたいと思います。

- ① 経済部農林整備課林業係
- ② 神奈川県(山形県)
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

南相馬市



かみむら まさたか  
上村 将尊



震災後に多くの方が避難されてきた、三条市からの派遣職員です。  
他の自治体での業務にはまだ戸惑いもありますが、日々刺激を受けながら取り組むことができています。何より、職場の皆さんの温かさにとっても助けられています！

南相馬市は、子育て世代の方々にとって、とても充実した環境だと思います。更に良いまちづくりに貢献するため、また職場の皆さんの助けになるため、微力ながら力を尽くしたいと思います。

- ① 子育て未来部 子育て家庭課  
(各種子育て支援助成金の支給業務等)
- ② 新潟県三条市
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

南相馬市

のがた りょう  
野潟 亮



原発事故の影響を受け復興まで長くかかる福島の復興に少しでも貢献できればとの思いから手をあげました。

町の印象は、のどかな里山の町。スーパーや道の駅などもあり生活環境は良いです。桜や新緑を間近で、独り占めできる喜びを感じました。山木屋地区では田植え作業にも参加し、今から秋の紅葉と金色の稲穂が楽しみです。

- ① 原子力災害対策課  
(山木屋地区に係る住民支援等)
- ② 東京都江東区
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

川俣町

みうら やすゆき  
三浦 康之



川俣町に赴任して5年目になります。本年6月より除染除去土壌等の搬出が完了した仮置場の原状回復・返還工事(4箇所)がスタートし、被災自治体の原子力災害からの着実な復旧・復興を実感しています。

しかしながら、全22箇所の仮置場の原状回復・返還工事の完了までには、まだまだやるべきことが多く時間がかかるのも事実です。未だに続くコロナ禍で思うような事業進捗ではありませんが、住民の方々が原子力災害からの復興の進展を肌で感じ、安全・安心を実感できるよう微力ながら一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。

- ① 原子力災害対策課除染対策係  
(除染廃棄物仮置場の返還に関する業務等)
- ② 福島県(兵庫県神戸市)
- ③ 平成29年4月2日 ~ 令和4年3月31日まで

川俣町

まつもと なつみ  
松本 夏実



広野町にお世話になって2年目を迎えました。

住民税と固定資産税の家屋の課税を担当させていただいています。

被災地の現状を学び、少しでも復興に貢献できればという思いから派遣を希望しました。着任当初は、慣れない環境に不安もありましたが、温かく迎え入れてくださった広野町の皆様のおかげで、とても充実した日々を過ごしています。

また今年度も引き続き広野町で仕事をさせていただけること、広野町の方々と関わっていけることに感謝して、毎日の業務に全力で取り組んでいきたいと思えます。

- ① 町民税務課
- ② 岐阜県岐阜市
- ③ 令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

広野町

にいやま たかし  
新山 貴士



私の派遣先は広野町建設課都市計画係です。都市計画係は町内の下水道管理、住宅の建築確認申請受付、浄化槽の申請受付や現場確認が主な業務となります。業務の範囲が広く覚える事がたくさんありますが、多くの事を学べ、やりがいがあります。

職場の雰囲気も良く、コミュニケーションが取りやすい環境です。都市計画系の業務内容は初めて携わる業務なのでわからない事が多いのですが、質問をしやすく説明が分かりやすいため仕事をスムーズに進めることが出来ます。

学ぶことが多く業務を把握しきれないのですが、広野町に貢献出来るよう頑張りたいです。

- ① 建設課
- ② 埼玉県三郷市
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

広野町

しんじょう きよあき  
真城 清章



広野町の復興に携わって4年目を迎えました。

広野町では復興に向けた様々な事業が実施されており、その一環としての広野町東側の新しい町づくり事業に従事しております。

毎年実施されていた各種イベント(広野町スタイル、童謡祭り等々)がコロナ禍により自粛、中止になってしまいました。早く沈静化して、賑わいの復活が望まれています。

- ① 復興企画課 (復興に関する企画、建設業務)
- ② 福島県(東京都江東区)
- ③ 平成30年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

広野町



なかむら あきら  
中村 明



1年前から福島県檜葉町の建設課の業務に携わっています。復旧・復興も一歩ずつ着実に進んでいることを肌で感じています。

もともと福島県は美しい自然に支えられ、水や食べ物などが豊かで、歴史もあり観光地としても魅力あるところでした。徐々にですが従来の賑わいを取り戻している様に感じます。

職場の雰囲気は、建設課の特殊性もあり皆さんフットワークが軽く、明るい職場だと思います。

コロナが無ければ、休みの日は県内をもっと見て回りたいと思っています。

- 1 建設課建設係(工事の現場管理、道路の維持管理)
- 2 神奈川県(宮城県仙台市)
- 3 令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

檜葉町

すがの なおよし  
菅野 直義



私の先祖は福島がルーツということを親から聞いていましたが、縁があって当町に派遣されました。原発被害のために一時避難していたのに町でいち早く除染等の環境整備に努力したため、これまで町民が帰ってきた結果だと思います。町としても震災前同様の住民人口を目標に町道の整備等の行政サービスを進めているものと思います。

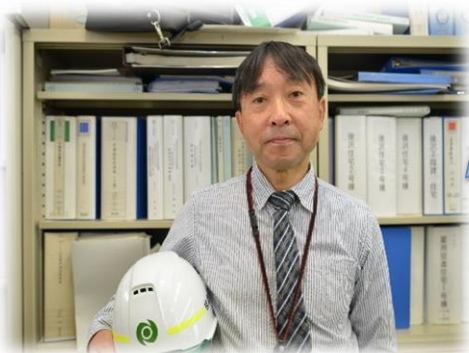
また、私の所属している建設課では若手職員が他の自治体より多く自分として良い刺激となると思います。

これからですが、被災地復興の一助となるように職場において協調性をもって業務を遂行したいと思いますので宜しくお願い致します。

- 1 建設課建設係(道路・河川の業務)
- 2 神奈川県
- 3 令和3年4月5日 ~ 令和4年3月31日まで

檜葉町

たかはし こういち  
高橋 弘一



派遣の動機

被災した東北を東北人として支援したい。

福島県の印象

道路が整備され、面倒見よくしていただいている。

派遣先職場の雰囲気

取組レベルが高く自分も前向きで頑張りたい。

福島県でやりたいこと

町内での様々な交流。

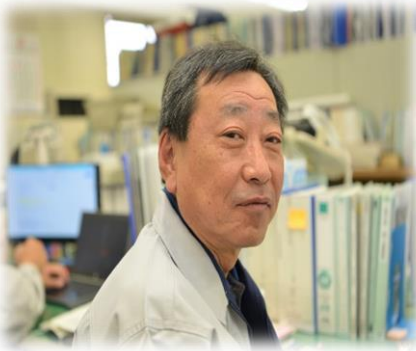
福島県で感じたこと気づいたこと

震災の被害の爪痕もわからないほど復興されてきている。

- 1 建設課建築住宅係  
(修繕工事発注、支援事業受付、工事現場監理)
- 2 神奈川県
- 3 令和3年4月2日 ~ 令和4年3月31日まで

檜葉町

はっとり まさひろ  
服部 正裕



神戸市須磨区で阪神淡路大震災に遭遇、被災。復旧・復興の手助けがあまりできなかった。3.11東日本大震災を目の当たりにして、一助となればと思ったのが派遣の動機。岩手県で8年間復旧、復興事業に従事。事業がほぼ完了したことから、復旧、復興が遅れている福島県の任期付き職員に応募した。コロナの影響で出かける機会は減ったが、コロナが落ち着いたら福島府の自然（磐梯山、猪苗代湖、温泉）や文化（相馬野馬追等）、歴史（会津）に家内や友人と触れてみたい。また、原発の後遺症が県内のあちこちに見受けられ、10年という期間を経てもなお、原発事故の被害が深刻なことを思い知らされた。

- ① 建設課建設係
- ② 福島県（大阪府大東市）
- ③ 令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

檜葉町

はら いわお  
原 岩男



私は、令和3年3月まで東京都の町田市役所で土木技術職員として、入職してから再任用期間満了までの40数年間地方自治体職員として職務に専念してまいりました。

この度縁があり神奈川県任期付災害派遣職員に採用され福島県檜葉町に派遣されております。

未曾有の震災から10年が経ちました、しかしながら全面的な復興には至っていないとの思いから、定年退職後の私でも、自治体職員の土木技術職としての知識や経験を少しでも被災地のお役に立てればと考え、今回の派遣職員募集に申し込みました。

- ① 建設課(下水道管渠工事の設計・監督 他)
- ② 神奈川県
- ③ 令和3年4月5日～令和4年3月31日まで

檜葉町

まつなが よしゆき  
松永 善行



被災地派遣職員として9年目、福島県での生活は4年目を迎えました。町の復興は、徐々にですが目に見えるようになってきました。しかし、まだまだ時間が必要だと感じております。

福島県の復興の一助になれるよう職務に専念したいと考えております。

- ① 都市整備課(下水道復旧業務他)
- ② 神奈川県
- ③ 令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

富岡町



たかはし とも  
高橋 智



被災地復興支援のため、本年度から応援派遣されました。富岡町では、定住化補助金の申請受付や令和5年度の帰還困難区域の解除に向けた公園整備計画策定等の職務に携わっており、温かな雰囲気のおもてなし職場で業務に取り組んでいます。

福島県に来て、町の広さや事業規模等、そのスケールの大きさに圧倒されています。

趣味の散歩を通して土地勘を養い、徐々に地域に親しんでいきたいと考えています。

- ① 都市整備課(土地区画整理事業、公園管理等)
- ② 東京都新宿区
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

富岡町

はしもと みきこ  
橋本 美喜子



帰町する方、避難先で生活する方、様々な選択をしながら生活していく方達と“健康”ということを通じて、一緒に考えお手伝いできたらと応募しました。

郡山支所にて、主に中通り、会津地区に避難している方への健康支援を行っています。住民の方や関係機関からの相談を聞き、どうしたらよいか一緒に考えること。健診を通じて健康づくりのために、一緒に生活を見直し、改善できることが続けられるよう、お手伝いをしています。

一人ではできることが限られます。職場の人と共に協力しながら仕事ができることが大事だと感じています。

- ① 健康づくり課健康づくり係(保健師業務)
- ② 福島県(福島県郡山市)
- ③ 令和2年11月1日 ~ 令和3年10月31日まで

富岡町

ほしの かつみ  
星野 克美



東日本大震災は、宇都宮で体験し、被災の状況を見聞きしていく中で震災復興のお手伝いができればと考え、福島県の任期付職員へ応募し、双葉郡富岡町へ赴任して参りました。

全て初めてのことでありますので、まず、復興を念頭に邁進してまいりますのでよろしくお願いいたします。

- ① 都市整備課建設係
- ② 福島県(栃木県宇都宮市)
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

富岡町

がたやま みのる  
瀧山 実



働ける間は、福島県浜通り市町の東日本大震災復興の一助（微力）となればとの強い思いがあり、これまで1市1町を4年経験しました。現在は富岡町で働いています。

会津・中通り・浜通りの気候風土にそれぞれ違いがあり興味が湧いています。

派遣先の職場の雰囲気は、働きやすい環境です。

- ① 都市整備課下水道係
- ② 神奈川県
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

富岡町

なかむら たくみ  
中村 拓実



埼玉県北葛飾郡杉戸町と双葉郡富岡町は平成22年11月3日に友好都市となりました。平成25年度から職員を派遣するようになり、私自身は派遣2年目となります。

町外避難者が孤立するのを防ぐために、町民が組織するコミュニティ団体の支援や、埼玉県に設置している「富岡町県外避難者支援拠点事務所」の運営といった業務に取り組んでいます。職場は、派遣職員であっても自由に意見交換が出来る雰囲気であり、とても仕事を進めやすい環境です。

震災から10年が経ち、多様化する町民の状況に寄り添った支援ができるよう、微力ながら尽力していきます。

- ① 住民課生活支援係
- ② 埼玉県北葛飾郡杉戸町
- ③ 令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日

富岡町

くわしま よしなり  
桑島 義也



福島県任期付職員となり富岡町に赴任して早3年目となりました。主に町施行の土地区画整理事業に係る換地、法手続きを担当しています。

休日は福島の豊かな自然、歴史、美味しいものを求め、軽自動車を酷使して県中を巡っています（福島県は広い!!）。また、ゼロからの町づくりとなった富岡町では、帰還された方々がいろんな活動をされていますが、その中に町の未来への贈り物としてワイン葡萄を栽培している活動もあり、私もたまに参加させてもらってます。

（写真：太平洋を臨む高台にある葡萄の圃場 撮影：筆者）

- ① 都市整備課（土地区画整理事業ほか）
- ② 福島県（愛知県日進市）
- ③ 平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

富岡町



さいとう かずや  
齋藤 和哉



品川区から派遣されて、本年度で2年目となりました。

富岡町と品川区が災害時における相互援助協定を締結しており、派遣されることとなりました。

私が配属されている生涯学習課業務係では、町の博物館である「とみおかアーカイブ・ミュージアム」を所管しており、係の一員として、その開館（7月11日（日））に向けて取り組んでいます。

東日本大震災および原発事故も含めた町の歴史をご覧いただける施設となっておりますので、ぜひ一度お越しください。

- ① 教育委員会生涯学習課  
(とみおかアーカイブ・ミュージアム)
- ② 東京都品川区
- ③ 令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

富岡町

かがや ゆたか  
加賀谷 優



富岡町へ派遣されて今年で2年目になります。

昨年担当させていただきました富岡産業団地の整備工事が無事完了し、次々に企業立地が進んでいく光景を見ることができ大変嬉しく思っております。職場の方々にはとても親切にいただき、お陰様で職場の雰囲気にも慣れて日々楽しく勤務しています。福島県は地形や気候に富んでおり、街ごとに景色や道路等のつくりも様々で見てとても参考になります。そうした視点を忘れずに、状況が落ち着いたら今年も東北各地へも脚を伸ばして行きたいと思っています。

- ① 都市整備課建設係  
(建設工事の発注・監督業務など)
- ② 東京都新宿区
- ③ 令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

富岡町

きたじま やすゆき  
北島 裕行



任期付職員通算8年目です。南相馬市3年、富岡町に赴任して5年目となりました。

写真は竣工検査を待つ町道六反田2号線上です。新設した橋梁バチサク橋を渡り右側に坂を登れば県道広野小高線に接続します。供用までは県道工事が残っている為に、しばらく時間を要しますが、整備された町道を利用して隣接する休耕していた畑を耕すための通行が10年振りに再開します。今年も一歩前進です。

- ① 都市整備課建設係
- ② 福島県(東京都江戸川区)
- ③ 平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

富岡町

ふくだ かおる  
福田 香



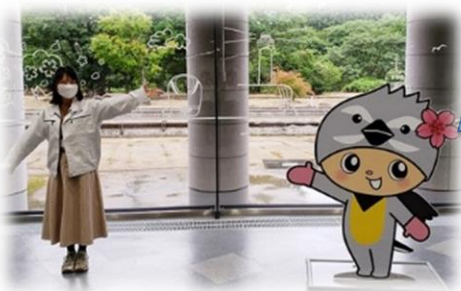
神奈川県のパ派遣職員として富岡町に勤務しています。山梨県出身で福島県の生活は初めてですが、町内に帰還困難区域があり、区内は当時の状況で朽ち果てた建築物が残り、被災の厳しさを知りました。

休日は初めての県内の温泉地や観光地を回って福島の良いところを見たいと思います。写真はいわき市湯本の温泉神社で町中には硫黄の臭いの源泉や日帰り湯があり日本三大古泉の感じのする街でした。

- ① 都市整備課  
(建築確認申請進達事務、建設工事監督員等)
- ② 神奈川県
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

富岡町

とみなが まさよ  
富永 まさ代



発災直後、区に避難してこられた方々を支援する中で交流団体と関わったこと、人や町との繋がりが強い下町で育ったこと、以前の応援派遣から東北にご縁が続いたことから、“交流”の仕事で復興に貢献したい、と希望してきました。

あたたかく話し合いがしやすい職場に恵まれ、また派遣職員にも仕事を任せてくださり、充実しています。

旅好き・自然好き・酒好きなので、状況が落ち着いたら、県内各地に出かけたり同僚と飲んだり、東京の友達や家族を案内したいです。

折角いただいたご縁に、復興の一助を担えるよう精一杯努めていきます。

- ① 住民課生活支援係(交流サロン運営支援)
- ② 東京都新宿区
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

富岡町

みうら のりつぐ  
三浦 規嗣



富岡町に派遣され、3年目を迎えました。被災地の現状を学び、復興業務に貢献できればという思いから派遣を希望しました。着任当初は、慣れない環境で不安な事が多くありましたが、職場の雰囲気も良く、周りの方々にサポートしていただき、安心して過ごすことができています。

震災から10年を経て被災地の環境が変化するとともに、寄せられる相談の内容も多様化してきていることを実感しています。

派遣2年間で学んだ経験を活かし、3年目、さらに町の復興の力になれるよう業務に取り組んでいきたいです。

- ① 福祉課(障害福祉、保育)
- ② 東京都品川区
- ③ 平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

富岡町



かたやま ゆきひろ  
片山 幸宏



今年度から、大熊町へ派遣されました。  
福島県は、義父の出身地でもあり、常に身近に感じておりましたので、東日本大震災の復興が土木技術者の不足で遅れている状況を知り、今までの知識、経験を活かし、微力ですが、少しでも皆さんのお役に立ちたいと思って応募しました。

福島県は、日本酒の金賞数が全国一位ですので、休日には酒蔵見学等を楽しみにしています。また、大熊町が取り組んでいる酒米栽培、日本酒醸造「帰忘郷」にも期待しています。

- ① 産業課(水路等設計・坂下ダム維持管理業務)
- ② 福島県(北海道小樽市)
- ③ 令和3年4月2日 ~ 令和4年3月31日まで

大熊町

かねこ のりひこ  
金子 範彦



東日本大震災の復旧・復興に微力ながら貢献したいと思ったのが動機です。学生時代を過ごした仙台市が津波や地震で被災したことも動機でした。

任期付き職員として福島県内に派遣されるのは今回が2回目で派遣期間は通算8年目になります。1回目の派遣時、福島県をより知りたいと考え、休日を利用して県内の道の駅を訪れ、地域の名産等に触れることで気が付けば2年をかけて福島県内ほぼ全域を回り終えました。

福島県は、食べ物(特に果実)と日本酒が美味しいというのが感想です。

- ① 産業課(農道改良、ため池補修)
- ② 福島県(茨城県日立市)
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

大熊町

まつだ ゆき  
松田 有紀



保健師として福岡県の市町村で働きながら、震災以降、退職後は福島県で応援職員として働きたいと思っていましたが、管理職になると地域で住民さんと接する機会が減ってしまい、退職まで少し早いけど思い切って福島に羽ばたいてまいりました。

避難生活が長く続く方々に家庭訪問等をする中で、「大熊町のために私にできること」を考えながら、日々、活動しています。

住民の方も役場職員の方もとてもあたたかく、九州弁のように早口ではなく、毎日楽しく働かせていただいております。

- ① 大熊町役場いわき出張所地域包括支援センター
- ② 福島県(福岡県北九州市)
- ③ 令和3年4月2日 ~ 令和4年3月31日まで

大熊町

さとう かつみ  
佐藤 克己



福島県の中でも災害に見舞われる以前にこの地域の気候風土は温暖な気候や太平洋の海の幸にも恵まれ穏やかな環境で生活していたことがこの地に赴任してまず感じられました。

災害から10年と長期ですが今でも以前のような環境に戻すことを全力で進めていることが皆様の表情を見る度に強く感じられます。

今後は皆様の熱意に添えられるよう皆様と一緒に業務遂行することに努力してまいります。

- ① 復興事業課(道路改良工事に伴う各業務)
- ② 福島県(福島県伊達市)
- ③ 令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

大熊町

すずき のぶとし  
鈴木 信俊



定年退職に伴う再任用の人事発令により派遣となりました。両親とも、かつて福島県内で働いており、私自身も福島県の高校に通学していた経験から、福島県はより身近に感じております。

職場の雰囲気は大変良好であり、皆さんに感謝申し上げます。

仕事柄福島県の芸術文化に触れる機会があるため、福島県の歴史に目を向け、出来れば史跡巡りなどをしてみたい。

双葉町の現状を目の当たりにして今感じていることは、大変厳しい現実と向き合っている町民の方々に、職員が寄り添っている姿です。

- ① 教育総務課  
(各種団体補助金の交付決定、芸術文化の振興)
- ② 茨城県北茨城市
- ③ 令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

双葉町

すながわ ともや  
砂川 智哉



茨城県東海村から派遣の砂川と申します。

双葉町に派遣されて2ヶ月が過ぎ、職場の皆さんに温かく迎えていただいたおかげで、業務でも私生活においても慣れ、とても充実した生活を過ごさせていただいています。

少しでも双葉町の力となれるよう、全力で頑張っております。

- ① 秘書広報課(情報発信に関する業務)
- ② 茨城県東海村
- ③ 令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

双葉町



たるみ たくや  
樽見 卓弥



昨年度から、人事交換交流という形で双葉町に派遣となりました。今まであまり携わっていない業務内容、初めて地元を離れての生活など、不安な点だらけの始まりでしたが、穏やかな職場の雰囲気や先輩方に助けられながら、仕事に励んでおります。

昨年からの同じ業務内容でも変化があることに対し、1年でこの町の復興が大きく進んでいることを感じており、少しでもその力になれるよう業務に励んでいます。

- ① 戸籍税務課(軽自動車・法人税の課税、徴収)
- ② 茨城県かすみがうら市
- ③ 令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

双葉町

やまぐち のぶお  
山口 伸夫



新潟県柏崎市から派遣の山口と申します。柏崎市も新潟県中越沖地震の際には、多くの自治体から支援を受けて復旧・復興が進みました。当時は受け入れ側にいた経験を基に、双葉町の復旧・復興に少しでも貢献できたらと考えています。

コロナウイルスの影響で、休日も引きこもり生活を送っていますが、ワクチン接種が済み、感染が落ち着いたら、福島県内の名所を巡ってみたいと思います。

- ① 建設課(道路災害復旧等)
- ② 新潟県柏崎市
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

双葉町

こだま じゅんじ  
児玉 淳司



九州北部豪雨で被災した福岡県朝倉市で2年間、復興支援に携わっていましたが、令和2年3月宮崎市からの再任用の派遣終了を機に、3年間、復興支援でお世話になった広野町と同じ浜通りの双葉地区でさらに微力ながら復興に貢献したく、神奈川県からの派遣を志望しました。

広野町派遣を通じた東北の自然、文化、風土、人との出会いは、忘れられない思い出であり、コロナ禍の中、昨年度の富岡町に引き続き、双葉町の復興支援とともに、感染に十分注意しながら、控えめに出会いと交流を深めていきたいと思っています。

- ① 建設課(下水道工事全般)
- ② 神奈川県
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

双葉町

さとう ともき  
佐藤 友希



大きな津波被害のあった女川町で長きにわたって復興事業に携わってきましたが、「今度は助ける番」という強い思いをもって派遣を希望しました。

着任後に双葉町旧庁舎を案内してもらいましたが、止まったままの時計と枯れた観葉植物、デスク上の飲みかけのペットボトルのお茶を見て、言葉では表現できない感情を覚えました。

これまでの経験を活かし、双葉町復興のために尽力することを固く誓います。

- ① 建設課（災害復旧工事、復興関連事業）
- ② 宮城県女川町
- ③ 令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

双葉町

いえき まゆみ  
家木 真由美



福島県に来て早3年目になりました。昨年からの感染症騒動で外出機会が減ってしまいましたが、家庭訪問や会議などで東西南北を車で移動し、道中の景色や街並みの違いを楽しんでいます。赤ちゃんから高齢者まで、一人ひとりの出会いを大切にしていきたいと思っています。

- ① 健康福祉課（保健師業務）
- ② 福島県（三重県）
- ③ 平成31年4月2日～令和4年3月31日まで

双葉町

ふるかわ しょうた  
古川 勝太



双葉町教育総務課所属となりました、福井県敦賀市出身の古川です。現在の職場では、職員一丸となって双葉町を盛り上げようという雰囲気があり、集中して業務に取り組むことができます。一方で、休憩時にはプライベートな話でコミュニケーションをとることができ、メリハリのある充実した毎日を過ごしています。

教育関係の業務は未経験ですが、新しいことにチャレンジすることが好きな性格ですので、一日でも早く仕事を覚え、「チーム双葉」の一員として少しでも力になれるよう頑張りたいと思います。

- ① 教育総務課（学校施設管理に関すること）
- ② 福井県敦賀市
- ③ 令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

双葉町



まえだ けんじろう  
前田 健次郎



東北の震災復興に関わり始めて足掛け6年になります。

現在は、双葉町で下水道の災害復旧工事の発注及び工事監督業務に励んでいます。当町は皆さんもご存知の様に、原発の影響で大部分が帰還困難区域となっていますが、来年春の一部供用開始を目途にインフラの整備工事を行っています。

いわきの仮役場から現場まで約80kmありますから、1日ばかりでの監督業務となります。汚水人孔は内径φ900mmですから、出来形確認時に出っ張った腹が障害となっています。

- ① 建設課(下水道工事全般)
- ② 神奈川県(長崎県)
- ③ 令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

双葉町

わたなべ たつゆき  
渡部 辰幸



公務員経験を震災復興に役立てたいとの思いで単身赴任を続けています。

最近は、職場とアパートの往復が基本。気分転換は近くの海で散歩や読書。コロナが落ち着いて県内外を自由に散歩できる日を心待ちにしています。

- ① 総務課(会計年度任用職員の採用、職員の福利厚生に関する業務)
- ② 神奈川県
- ③ 平成30年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

双葉町

いわせ ゆみ  
岩瀬 由美



38年間の行政保健師としての退職を機に、経験を活かしお役に立てればと思い、同じ行政職としての県の任期付に応募しました。縁あって双葉町の保健師として平成31年4月から勤務し、3年目になります。

初めての東北暮らし、最初は言葉も地理もわからないことだらけでしたが、2年目3年目と徐々に慣れて住民の方からお声かけしてもらえようになり喜びも感じるこの頃です。

現在双葉町は令和4年春頃の帰町に向けて、準備が進められています。仕事はチームワークが一番と思っています。職場の方々はもちろん、住民の方達との出会いを大切に、これからも取り組んでいきたいと思っています。

- ① 健康福祉課(保健師業務)
- ② 福島県(熊本県八代市)
- ③ 平成31年4月2日 ~ 令和4年3月31日まで

双葉町

さとう まさみ  
佐藤 正美



こちらに来て4年が経過し久しぶりに公共土木施設災害復旧事業を災害査定から工事完成まで経験いたしました。

今年も橋梁災害工事の監督員となり、今まで経験したことがない工法での施工のため、文献等を慌てて勉強し、確実に技術力の向上を図っております。

浪江町に派遣されて良かったと感じております。

また、常磐線の開通、イオンの開店により生活環境がより良くなりましたので、5年目の満期まで勤めたいと思います。

- 1 建設課(土木工事設計・施工・監督)
- 2 福島県(神奈川県小田原市)
- 3 平成30年4月2日 ~ 令和4年3月31日まで

浪江町

おおたけ よういち  
大竹 陽一



浪江町で、今まで培ってきた知識や経験を活かし復興に貢献できる機会を与えていただき、派遣3年目を迎えました。今年度も「広報なみえ」の編集・製作業務を担当させていただき、浪江町の復興に向けた歩みを、より多くの皆さんにお伝えできればと、日々奮闘しています。

また、「ゆるキャラグランプリ2020」に挑戦し“全国26位・福島県内1位”に輝いた、浪江町イメージアップキャラクター「うけどん」とともに、“浪江町が前向きに復興に取り組んでいる姿”を全国に情報発信すべく、より一層頑張っております。

- 1 企画財政課(広報業務・情報発信業務)
- 2 千葉県成田市
- 3 平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

浪江町

すみよし しげき  
住吉 重紀



今年度から新設された係に配属となりました。とはいえ、業務の内容は昨年度とほぼ変わらず、再エネ、水素のことを考える日々です。

日常生活では福島をベースにしたこれまで東北巡りはなかなか復活できずウズウズした日々を送っていますが、気分転換に近場をウロウロしながら、復活の日を待ち望んでいます。

まずは県内探訪からですが、4年目でもまだまだ行っていないところはたくさんあり楽しめそうです。

- 1 産業振興課(再生エネルギー推進、水素利活用促進)
- 2 神奈川県横浜市
- 3 平成30年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

浪江町



みずたに まこと  
水谷 誠



被災地派遣を希望し浪江町では大規模な復興事業を担当し、とても充実しています。

1年の勤務を経て、夜8時にはスーパー、コンビニが閉まり暗くなる生活にも慣れ、夜10時就寝、朝5時起床ととても健康的な生活をしています。お蔭で朝のお目覚めもすっきり。横浜の生活環境とは全く異なりますが健康的な生活で満足しています。

- ① 農林水産課
- ② 神奈川県横浜市
- ③ 令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

浪江町

きむら まさと  
木村 正人



浪江町は震災と原発事故による全町避難が一部解除され、町民が帰還して4年が経過していますが、多くの公共施設が休館となっています。自分は、唯一開館している「スポーツセンター」に勤務し生涯学習に関する業務に携わっています。

コロナ禍で芸能祭2年続けて中止になったのは残念でした。

休館となっている図書館と公民館は来年度再開予定です。利用者に喜んでもらえる施設となるよう頑張ります。

- ① 教育委員会事務局 (社会教育施設の復旧整備及び社会体育施設の維持管理運営)
- ② 高知県
- ③ 令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

浪江町

おぎま まき  
小座間 真樹



震災当時、同じ東北人として応援したい気持ちが強かったのですが仕事の都合で叶いませんでした。今回機会に恵まれ浪江町へ来ることができました。

震災から10年が経ちましたが、町の復興にはまだまだ時間がかかるということを浪江町に来て改めて感じています。微力ながらお役にたてればと思います。

日々浪江町の風を心地よく感じながら過ごしています。

- ① 介護福祉課 (介護保険料・介護施設管理)
- ② 東京都新宿区
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

浪江町

のさか あつし  
野坂 篤史



東日本大震災があった年に、被災地への慰問演奏やチャリティライブを行った経験から、いつかまた東北の力になれることがないか、と考えていました。10年目という節目の年に浪江町への派遣の話をいただき、迷わず手を挙げました。新型コロナウイルスで難しい時期ではありますが、新宿区で得た知識や経験をイベント事業等に活かせるよう、頑張ります。

福島県は自然が豊かで、人も温かいな、と感じています。県内はもちろん、東北の名所やグルメを楽しもうと思っています。

- ① 産業振興課商工労働係  
(観光、イベント運営、産品振興等)
- ② 東京都新宿区
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

浪江町

ふくえ ひろし  
福栄 寛



今回、復興の応援派遣を希望した動機は、震災後10年が経過した現在、浪江町をはじめとする福島県の原発被災地は、復興に向け歩み始めたばかりで、町役場の職員の皆様が復興促進に向けた施策に注力していただくための一助になればとの思いが一番でありました。どれだけお役に立てるか判りませんが、精一杯頑張ります。

また、私の地元の和歌山県は、南海トラフ大地震に備えた対策が重点的に行われており、今回の派遣業務を通じて、少しでも地元に戻元できるものを吸収したいと思っている次第でありますので、よろしくお願いいたします。

- ① 住民課(固定資産税課税事務)
- ② 和歌山県田辺市
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和5年3月31日まで

浪江町

いいぬま よしお  
飯沼 良夫

- ① 農林水産課(農業土木係)
- ② 神奈川県
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

浪江町

私は、神奈川県の出向職員として前年度は宮城県南三陸町に赴任していました。業務内容は、漁港災害復旧工事2港を担当し、3月に両者とも完成し役目を果たしました。そこで、今年度は元々農業土木を得意とした分野であることから歳も63才なので最後は、福島県において役に立ちたいと思い、未だに帰還困難区域を抱える浪江町を希望させていただきました。技術者人生の集大成を地元福島県の復興のために努力したい思いでまいりました。

また現在の業務内容は、加速化交付金を利用したため池底質除去工事を実施していますが思ったとおり高線量であることがわかりました。この底質土砂をいち早く除染し地域住民の営農再開の後押しをできればと思っています。ただこの事業を実施して感じましたことは、山林の除染をいち早く環境省で実施していただきたい。山に降った雨は、土砂を巻き込んで「また」ため池に流下し結果もとの黙阿弥になっている状態です。私たちは、ひどく忙しい工事をしているのかと最近感じています。

最後にそれでも、地域住民のために何回でも工事を実施し早期帰還と営農再開を望み努力したいと思います。



ふじはら ただよし  
藤原 忠善



私は平成29年4月に神奈川県から岩手県陸前高田市農業委員会に派遣され勤務してしました。今年4月に浪江町役場に異動して感じたことは、陸前高田市とは復興の様子が全然違うと感じました。陸前高田市で過ごした4年間は毎日復興の様子が目で感じられましたが、こちらではそうでないようです。地震による被害だけでなく原発による被害が重くのしかかっている感じがします。福島県には2年前に復興局と岩手県の職員と私の3人で会津若松市に1泊2日で旅行に行きました。猪苗代町のラーメン館で食べ放題に挑戦し、会津若松市の飯盛山や鶴ヶ城を散策し、夜は市内に宿泊し、居酒屋で馬刺しをはじめとする郷土料理を堪能し、美味しい酒を味わった思い出があります。

- ① 住宅水道課 住宅係
- ② 神奈川県
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

浪江町

てらい ひでき  
寺井 秀樹



浪江町に派遣になって3年目になります。担当業務は、農地の出し手と借り手のマッチングや営農再開の支援業務を担当しています。

浪江町では、帰還率10%に留まり、担い手の農家の皆さんも、多くの方が通作の状況です。

厳しい状況ですが、少しでもお役に立ちたいと考えています。

- ① 農林水産課(営農再開用地のマッチング)
- ② 神奈川県
- ③ 平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

浪江町

もり まさひろ  
森 雅博



浪江町にお世話になってから3年目です。現在の主な業務は復興牧場建設です。昨夏以降地元周りを繰り返し、顔も見れば「ベコの話だろう」と言われるようになってきました。休日は相変わらず温泉巡りをやっています。

- ① 農林水産課農政係
- ② 神奈川県
- ③ 平成31年4月2日 ~ 令和4年3月31日まで

浪江町

おざわ みさお  
小澤 美佐夫



岩手県大槌町の復興工事に5年間従事し主に学校の復興を行ってきた。その中で町民との交流や業務関連の関わりにやりがいを感じていて更に継続したかったが5年の任期が終了したため退去し浪江町の復興に応募しました。

派遣職場は面倒見がよく皆さん紳士的です。

今の業務は本庁舎の脱炭素、CO2の排出を抑えるための設備改修工事で環境省からの補助事業が動き始めたことで様々模索しているところです。

全町避難後の人口が被災前の10%になったため町中がガラガラしているのが寂しいことで人の大切さを思い知っています。

こちらに在職中に福島県を隅々まで体験することを目標とし生活して参ります。

- ① 建設課（本庁舎 ZEB 化改修工事）
- ② 神奈川県
- ③ 令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

浪江町

まつなが わたる  
松永 恒



北海道の人が寒いなんて？と言われますが、暖かいところに行きたいなあと言っていたけれど、企業に就職したら何故か名取市から北へ北へと釜石の復興事業へ。神奈川県の任期付職員に採用されて陸前高田市⇒女川町⇒浪江町と南下してきました。福島県は暖かくていいですね。それと、太平洋から昇る朝陽と阿武隈山地に沈む夕陽がとてもきれいです。

都道府県で3番目に広い福島県、色々などところに出かけて温泉にも入ってみたいと思っています。

- ① 建設課中心市街地整備室  
（一団地事業の事務支援）
- ② 神奈川県（北海道札幌市）
- ③ 令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

浪江町

ひさまつ ゆうじ  
久松 雄二

震災復興にすこしでも役立ちたいと思い参加しました。福島県はとても広くて一年では回りつくせないとの印象を持ちました。ましてこのコロナ禍ですから、しばらく県内巡りはお預けですね。しかし、勤務先の浪江町や宿舎のある南相馬市のお店で食事をしていてもこのお料理も美味しくて、本当にいいところだなと思います。そのようなところが元どおりに、一日も早く復興を果たすように及ばずながら尽力したいと思っています。

- ① 住民課除染環境係（環境行政）
- ② 神奈川県（東京都町田市）
- ③ 令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

浪江町



はせ つよし  
長谷 剛史



浪江町に派遣されて2年目（成田市職員時代含めると通算4年目）となりました。

コロナ禍により多くの生涯学習関連事業が自粛となり、事業の準備をしては中止になるというもどかしさを感じていますが、日々、忙しくも楽しく働いています。

福島には、豊かな自然や魅力的な温泉が多いので、休みの日には日帰り登山と温泉で、心と身体の疲れを癒やしています。

① 教育委員会事務局（生涯学習、社会体育の振興、社会教育関連施設の維持管理）

② 神奈川県

③ 令和2年4月2日 ～ 令和4年3月31日まで

浪江町

しまうち まこと  
嶋内 誠



福島県に来て9年目、浪江町は7年目になりました。

高知では測量、設計、積算、工事管理等を行っていたので震災復旧のお手伝いができると思い来ました。少しは役に立てたかな？と思っています。

復旧・復興事業もほぼ終わりに近づいたし、コロナのせいで1年半高知にも帰れていないので、今年度で終わりにしたいと思っています。

① 建設課（土木工事設計積算・施工・監督）

② 神奈川県（高知県）

③ 令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日まで

浪江町

たけもと ひでゆき  
武本 秀之

2年目を迎えました。

コロナ禍のため、職場と家の往復のみの生活でストレス発散の場もなく厳しい状況ですが、復興の一助になれるよう頑張ります。

① 産業振興課

② 岡山県赤磐市

③ 令和2年4月1日 ～ 令和4年3月31日まで

浪江町

ほさか かずお  
保坂 一男



赴任してから早いもので4年目に突入しました。私の仕事は固定資産税の中でも家屋に関することを主にしていますが、原子力災害による家屋解体も一段落し、建て替えが少ないため通常業務に余裕ができてきたため今までできなかった業務に取り掛かっているところです。

街中では飲食店や買い物ができるところが増えましたが、コロナの影響で酒類の提供もなく利用も控え気味になっています。地元のイベントや祭りを楽しみにしているのですが…。

- ① 住民課税務管理係（固定資産税課税事務）
- ② 神奈川県川崎市
- ③ 平成30年4月1日～令和4年3月31日まで

浪江町

せきね りょうた  
関根 涼太



1年間新宿区より福島県の浪江町に派遣となりました。福島に来て約3ヶ月が経過しましたが、福島の自然は非常に魅力的だと感じています。

趣味であるドライブを通じて県内の魅力に触れるとともに、私の業務である情報発信も県外ならではの目線で福島の魅力を発信していきたいです。昨今のコロナ禍でもSNSなども活用し、自他ともに楽しめる1年間になりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

- ① 企画財政課
- ② 東京都新宿区
- ③ 令和3年4月1日～令和4年3月29日まで

浪江町

みのざわ かつや  
箕澤 克弥



葛尾村、福島県で大変お世話になりあっという間に、丸一年が経過しました。

葛尾村は四季折々の風景が非常に感じられ、通勤時、毎度癒やされています。（5月は新緑がとても綺麗でした。）コロナ禍ということもあり、福島県全体を回り切れていないので、今年に行けるところを回りたいです。（夏は福島の海でサーフィンを楽しみます。）

今年度も皆さまにお世話になります。よろしくお願いいたします。

- ① 総務課（ふるさと納税・各種イベント等）
- ② 神奈川県横浜市（和歌山県）
- ③ 令和2年4月1日～令和4年3月31日まで

葛尾村



うめみや よしあき  
梅宮 善顯



葛尾村に着任して足掛け9年。三春町貝山仮設庁舎・避難者仮設住宅からスタートして現在は、葛尾村役場に勤務。

葛尾村の帰還困難区域を除く道路等の整備（復興庁事業）も終わり、来年度は帰還困難区域の整備を予定しております。途中、癌を患いましたが再発・転移もなく復興の一助になればと頑張ってます。頑張ります。

ふれ～フレ～うつくしま・ふくしま・かづろー・かつらおむら

- ① 地域振興課地域整備係（道路等維持補修）
- ② 福島県（福島県郡山市）
- ③ 平成25年4月1日 ～ 令和4年3月31日まで

葛尾村

まつかわ なおし  
松川 直史



新地町に派遣されて2年目に入りました。時には同僚から大根、白菜、ソラマメなどの新鮮な野菜をもらったりします。先日は地元の区長さんからブリの切り身をいただき、お酒と共においしくお腹を満たしました。

復興事業が終盤になったところで2月の福島県沖地震（震度6強）が発生し、今後はそちらの災害復旧の仕事が忙しくなりそうです。

- ① 建設課（復興事業の監督・設計業務）
- ② 神奈川県（愛知県大口町）
- ③ 令和2年4月2日 ～ 令和4年3月31日まで

新地町

さとう わたる  
佐藤 亘



今年2月の福島県地震は新地町に影響が大きく、特に下水道に被害がでました。これに関する災害査定・工事の設計・積算・監督等の業務をしております。なじみやすい分野でありやりがいを感じております。

- ① 都市計画課（都市計画係）
- ② 神奈川県
- ③ 令和2年4月1日 ～ 令和4年3月31日まで

新地町

みよし やすゆき  
三好 康之



はじめまして。飯舘村派遣の三好と申します。

福島県には、平成26年度に一年間、神奈川県座間市の派遣職員として、須賀川市さんにお世話になりました。今回、福島県の任期付職員として、飯舘村に派遣されました。コロナ禍のなか、様々な状況が想定されますが、精いっぱい仕事をさせていただきます。宜しくお願いします。

- ① 建設課土木係
- ② 福島県（東京都町田市）
- ③ 令和3年4月2日 ~ 令和4年3月31日まで

飯舘村

かわい かずし  
川井 一司



自然豊かな飯舘村の、その先の復興を見据えて邁進したいと思います。

- ① 建設課土木係
- ② 神奈川県
- ③ 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで

飯舘村

ごとう ひてふみ  
後藤 秀文



・震災・原発事故からの復興再生に向け日々努力されている福島県民の方々と共に、微力ですがお役立てれば幸いです。

・四季折々の自然と積み上げられてきた歴史、のんびりとおおらかな人々に包まれゆったりした毎日を送っています。

・業務時間中は集中して熱心に誠意を持って業務に対応している職員の姿に感服しています。

・海、里、山の四季折々の自然を体験しつつ、釣りや畑作業等の自然とのふれ合いに磨きをかけたいと思っています。

・南東北だけあって、夏は暑い日が多いが、冬も寒い日が多い。そして歴史を通した長い文化があり、今の逆境から立ち上がる努力が続いています。

- ① 建設課 建設管理係
- ② 福島県（北海道紋別郡湧別町）
- ③ 令和3年2月1日 ~ 令和4年1月31日まで

飯舘村



# Information

「ふくしま12市町村移住支援センター」が開所しました。

2021年7月1日に福島県12市町村への移住・定住を促進するため、広域連携が効果的な事業や12市町村による移住施策の支援等を行うため福島県は、ふくしま12市町村移住支援センターを設置しました。12市町村の移住・定住の促進に向けた課題を把握しその解決にあたります。

※12市町村：田村市、南相馬市、川俣町、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村



〒979-1111

福島県双葉郡富岡町小浜553番地2(福島県富岡合同庁舎2階)

URL : <https://www.fipo.or.jp/ijyu/>